

社会資本整備審議会 道路分科会  
平成30年度 第1回 四国地方小委員会  
議事概要

1. 日時：平成30年11月2日（金） 13：30～14：45

2. 場所：高松サンポート合同庁舎 13階 1306・1307会議室

3. 出席者

[委員長]

山中 英生 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授

[委員]

倉内 慎也 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授

近藤 明子 四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授

野々村 敦子 香川大学創造工学部創造工学科 准教授

畠中 智子 高知のまちづくりを考える会 代表

4. 議事内容

(1) 四国地方小委員会及び計画段階評価について

(2) 計画段階評価

①阿南安芸自動車道 野根～安倉

5. 審議結果

阿南安芸自動車道 野根～安倉 の計画段階評価について、当小委員会として対応方針（案）【案②区間延長を極力短くしたバイパス案（一般道路）】は妥当と判断する。

なお、詳細なルート・構造の検討にあたっては、広域的な道路ネットワークである「四国8の字ネットワーク」の一環であることを考慮したうえで、自動車通行のみでなく、歩行者・自転車等も含めた道路利用者全体の走行性、安全性や自然環境、生活環境等への影響、整備期間の短縮及びコスト縮減に配慮すること。

6. 主な意見

- ・意見聴取の結果として、地元住民等から様々な意見を頂いているので、今後の地元の方への説明は丁寧に行ってほしい。
- ・長いトンネルにおける原動機付自転車の交通事故の問題も構造検討の際には考慮してほしい。
- ・現道の処理に際しては、住民の方や観光客等の現道を使う人のことも慎重に考えてほしい。
- ・たとえ一般道路であったとしても、8の字ネットワークとしての位置付けを考慮すべきである。
- ・既に過疎化が進んでいる地域であり、住める環境づくり（生活環境の改善）の面もきちんと考えるべきである。
- ・対応方針は、規格の高い幹線道路の機能の含みを持たせた内容にしてほしい。